

河川堤防の質的整備

【いま、河川堤防は「質的整備」が求められています】

■ 河川堤防の整備

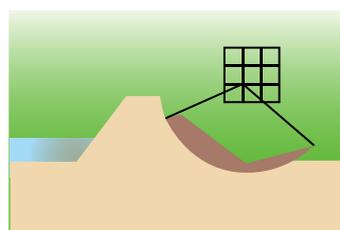
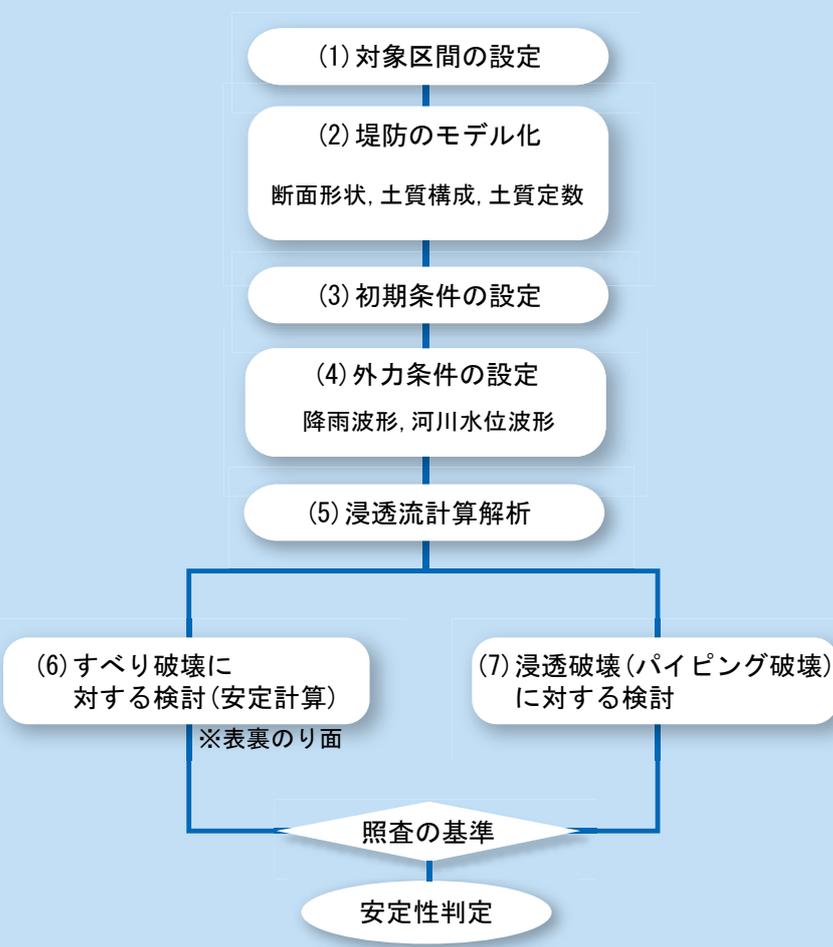
これまでの考え方(量的整備)

堤防の高さや幅が不足している場合、拡幅や嵩上げを優先的に実施してきました。しかし、過去に築造された堤防は、十分な強度(適切な品質)を有しないものがあります。

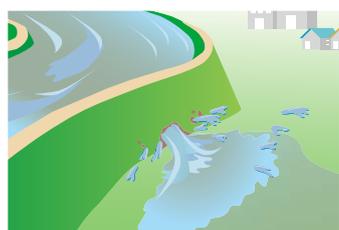
これからの考え方(質的整備)

堤防点検を行った上で安全性が不足している箇所について堤防強化が必要です。

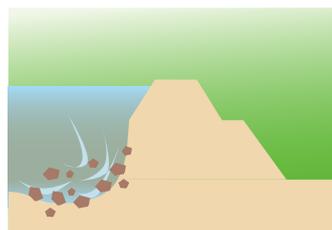
● 浸透に対する安全性の評価



すべり破壊

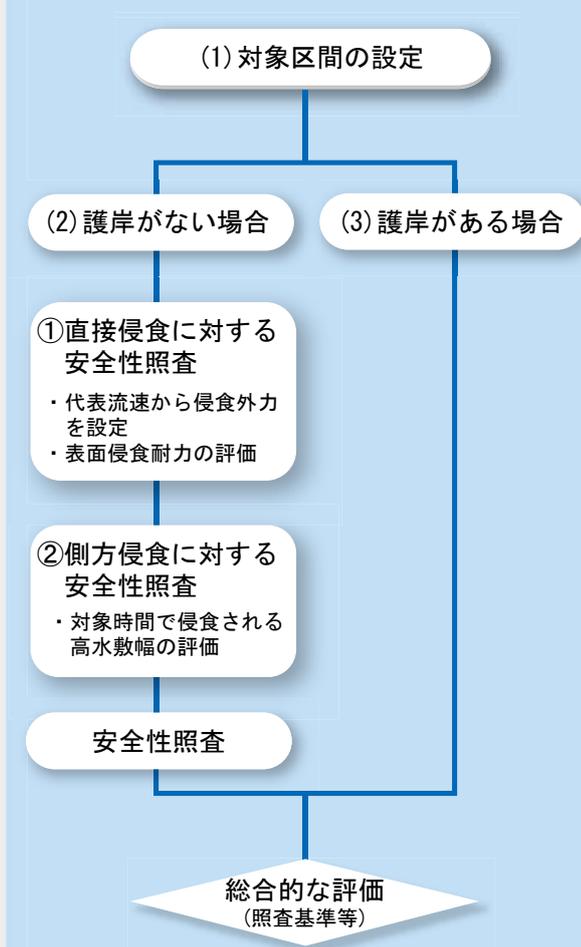


浸透(パイピング)破壊



侵食(洗掘)破壊

● 侵食に対する安全性の評価



弊社では、河川堤防の質的整備に必要な基礎調査から照査外水位の設定、各種地震変位解析 (ALID, LIQCA, FLIP, Newmark等)、耐震性能の評価、対策工の検討・設計までを合理的、効率的に行います。

また、調査結果や解析結果については、膨大な情報をシート形式で体系化して整理することで、他地区との比較や河川管理台帳としての統一した整理など、将来の維持管理を含め幅広く活用していただくことが可能です。

基礎調査整理シート

距離標(Am)	0.00~100	0.00	0.05	0.10	0.15	0.20	0.25	0.30	0.35	0.40	0.45	0.50	0.55	0.60	0.65	0.70	0.75	0.80	0.85	0.90	0.95	1.00	
堤体特性	築堤年次	S30以前											S29				S30以降						
基礎地盤特性	土質区分	砂質土・粘性土											砂質土				砂質土						
	治水地盤分類	後背湿地											遊移性デルタ				河床		自然堤防		河床		後背地
堤体履歴	土質区分	粘性土																					
	浸透	有											有				有						
今回検討における評価	浸透	有											有				有						
	堤脚部人家隣接	有																					
緊急詳細点検区間	堤防高4m以上	有																					
	浸透対策																						
一連区間区分	堤体土質区分	砂質土・粘性																					
	基礎地盤土質区分	A																					
距離標(Am)	0.00~100	0.00	0.05	0.10	0.15	0.20	0.25	0.30	0.35	0.40	0.45	0.50	0.55	0.60	0.65	0.70	0.75	0.80	0.85	0.90	0.95	1.00	

浸透に対する評価シート

